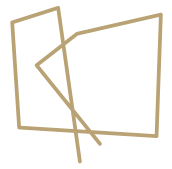


# 多層都市「幕張市」

Produced by METACITY



MAKUHARI  
CITY



MAKUHARI  
CITY



もしも、実在しない行政区「幕張市」に住むとしたら。

もしも、新しい投票システムでの選挙をすればしたら。

もしも、家族の形を自由に設定できる特区があればしたら。

場所にしばられない、架空の空間に住むとしたら。



MAKUHARI  
CITY

## 多層都市「幕張市」創立記念展

日時：2020年12月20日(日) - 2021年1月31日(日)

会場：幕張ベイパーク周辺施設・オンライン

主催：METACITY

企画：METACITY

監修：株式会社環境計画研究所

協力：株式会社熊谷組

協賛：三井不動産レジデンシャル株式会社、野村不動産株式会社、三菱地所レジデンス株式会社

伊藤忠都市開発株式会社、東方地所株式会社、株式会社富士見地所、袖ヶ浦興業株式会社

後援：千葉市

問合せ先：一般社団法人METACITY推進協議会 (050-5534-9017、info@metacity.jp)

【関連イベント】

## コドモ向けパブリックアート作品体験ワークショップ

子どもたちが150mの巨大な建築物をライトアップする？今回展示するパブリックアートのコンセプト説明から作品作りにおいて大切にしている考え方に触れるとともに、実際の作品で使用する照明装置を離れた場所から操作し作品作りの楽しさを体感する。

日時：12月17日(土) 18:00-19:00

場所：幕張ベイパーク クロスポート

参加費：無料

## 茶の湯のアート集団「The TEA-ROOM」の 新作パブリックアート作品

12月から始動する多層都市「幕張市」に接続する、前衛的の茶の湯のアート集団「The TEA-ROOM」の新作パブリックアート作品を展示する。

日時：2020年12月20日(日) - 2021年1月31日(日) 18:00-21:00

場所：幕張ベイパーク スカイグランドタワー

参加費：無料

※ AR技術と照明を用いた作品になり野外で鑑賞するので、

特定の会場はありません。

幕張ベイパーク周辺から鑑賞可能です。

## 『多層都市「幕張市」創立記念展』トークイベント

日時：2020年12月30日(水) 19:00-24:00

場所：DOMMUNE (オンライン)

参加費：無料

## 感性を紡ぎ「都市」をつくる

### —— Placy Urban Rhythm Workshop

好きな音楽が導いてくれる場所は、あなたにとっても居心地のいい場所かもしれない。音楽で場所を探せる地図サービスを開発する「Placy」と、感性から街を照らす音楽地図をつくる。

日時：2021年1月24日(土)

場所：幕張ベイパーク クロスポート

参加費：無料

## 「幕張市」をSFする

### —— Civic Vision SF Workshop

伝説的SF小説『ニューロマンサー』に登場する千葉市。その千葉市に縁のあるSF小説家集団「Dead Channel」による想像力を鍛え、広げる運動を共に起こそう。

SF小説を執筆する上で重要な考え方や思考方法について実際にアイデアを考えながら実験していきます。

日時：2021年1月17日(日) 13:00-18:00

場所：幕張ベイパーク クロスポート

参加費：一般=3,000円、学生=1,500円

## ポスト民主主義に必要な技術とは？

### —— CivicTech Lecture Series

CivicTechとは、Civic(市民)とTechnology(テクノロジー)をあわせて造語。市民がテクノロジーを活用し草の根的に自ら社会を作る行為を指す。投票システムやデジタル民主主義、都市サイエンスなどの専門家たちが思想や技術についてレクチャーするシリーズの第一回目を配信。

日時：2021年1月23日(土) 13:00-15:00

場所：オンライン

参加費：2,000円

都市は誰のものか。都市と主体性、土地・空間の自治の主体がどこにあるのかという問題は長い年月、歴史の中での様々な問題を孕んできた。部屋という最も小さな私的空間から、公共や自由空間へ出ることが難しくなった2020年、人々は仮想空間に新たな場を築き、そこでの関係性や文化、娯楽を築き上げている。それでもなお、行政や自治、政策といった大きな関係性に私たちは縛り続けられ、インターネットにより思想や情報が自由になったとしても、私たちは場所の制約から逃れられない。

巨大な海からではなく、とある極小の地から。



# MAKUHARI CITY

## METACITY

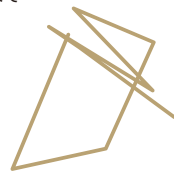
思考実験とプロトタイピングを通して「ありうる都市」を探求するリサーチチーム『METACITY』。2019年のキックオフカンファレンスを起点に、SFC 田中浩也研究室と30m大の3Dプリンタで生態系を出力するプロジェクト「Bio Sculpture」、雑誌WIREDとあり

うる文化を思索し実装するスペキュレティブゾーン「WIRED特区」、空飛ぶ車を開発する技術者集団 CARTIVATORと人間の視点と身体性にこだわらないミクロからマクロスケールまでの様々なモビリティをプロトタイプするR&Dチーム『The Mobilities』、茶の湯のアート集団 The TEA-ROOMと茶の湯の概念を都市にインストールするアートプロジェクト『Random Seed Garden』など、様々なプロジェクトを始動。そして今回新たに多層都市「幕張市」プロジェクトを立ち上げる。来年2021年の夏には、自然中心の新たなテクノロジーのあり方を模索・提示する展覧会「生態系へのジャックイン」展を開催予定。

## 幕張市概要

市外の人々が幕張一帯を本来は千葉市にも関わらず、「幕張市」という行政区が存在していると勘違いしている。それを逆手に、実在しない都市、「幕張市」をボトムアップで作るプロジェクト。都市の多くは、老朽化した社会インフラの管理や増大する社会福祉など現状維持に多くのリソースを割き、進化の袋小路に陥っているようにも見える。物理的・制度的にも制約されない「幕張市」では、都市のプリミティブな機能にフォーカスできるのではないかと？

委任伝播投票やクアドラティック投票などの投票システム、人々をつなぐありうる祝祭性、太陽層に縛られない時間軸など実在の都市や社会では試せないシステムのPoC(概念実証)を実施していく。また存在そのものが人の認識により異なり実在性がゆらぐ「幕張市」をグランディングさせ、それを問うようなアート展示、アートプロジェクトも展開していく。虚構の象徴の一つとも言える「都市」とはそもそも何なのか？何を我々にもたらそうとするのか？「都市」を作りながら「都市とは何か？」を探求していく。



# MAKUHARI CITY



# MAKUHARI CITY



## METACITY

詳細および申し込みはQRコードから